

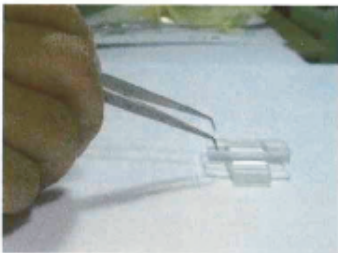
# フォトボンド使用方法

一般的な使い方をご紹介します。

(\* ご希望の用途に合わせ、十分なテストをお願いします。\*)



まず工作物表面のほこり、油、汚れを、溶剤などで取り除いて下さい。溶剤をご使用の場合は、溶剤が完全に揮発した後、接着作業に移して下さい。



接着箇所をPHOTOボンドを塗布し、もう片方の工作物を圧着させます。この時、気泡が入ると、接着力が落ちます。工作物同士をこすり合わせ、気泡を追い出してください。

接着強度と、接着剤層の厚みには、一定の相関関係はありません。どの程度の塗布厚みが必要かは、接着条件により異なりますので、十分な予備試験をお願いします。



接着位置がずれないように、固定具をご使用ください。より紫外線を通す側から、接着面に直角に、かつ接着面に均一になるよう、紫外線を照射してください。照射時間は、接着条件により異なりますので、十分な予備試験をお願いします。接着面が広い場合は、順次照射場所を移動し、全体に均一な照射量が行き渡るようにしてください。



接着面からはみ出したPHOTOボンドは、空気があると、紫外線を受けても硬化しません。照射の後、適当な溶剤(アルコール系、石油ベンジン、炭化水素系クリーナー)で拭き取って下さい。

接着面を密閉して空気を遮断できない、コーティングなどの用途では、下記を参考にしてください。

- ① 工作物全体を真空中に置く。
- ② N<sub>2</sub>(窒素)、CO<sub>2</sub>(ドライアイス)のような、不活性ガスを注入した作業上内で照射する。
- ③ 透明なポリエチレンフィルムなどで表面を被覆し、その上から光を照射する。  
光照射後、フィルムをはがす。

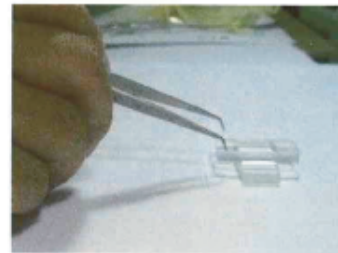
# フォトボンド使用方法

一般的な使い方をご紹介します。

(\* ご希望の用途に合わせ、十分なテストをお願いします。\*)

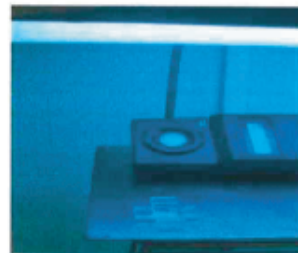


まず工作物表面のほこり、油、汚れを、溶剤などで取り除いて下さい。溶剤をご使用の場合は、溶剤が完全に揮発した後、接着作業に移して下さい。



接着箇所をPHOTOボンドを塗布し、もう片方の工作物を圧着させます。この時、気泡が入ると、接着力が落ちます。工作物同士をこすり合わせ、気泡を追い出してください。

接着強度と、接着剤層の厚みには、一定の相関関係はありません。どの程度の塗布厚みが必要かは、接着条件により異なりますので、十分な予備試験をお願いします。



接着位置がずれないように、固定具をご使用ください。より紫外線を通す側から、接着面に直角に、かつ接着面に均一になるよう、紫外線を照射してください。照射時間は、接着条件により異なりますので、十分な予備試験をお願いします。接着面が広い場合は、順次照射場所を移動し、全体に均一な照射量が行き渡るようにしてください。



接着面からはみ出したPHOTOボンドは、空気があると、紫外線を受けても硬化しません。照射の後、適当な溶剤(アルコール系、石油ベンジン、炭化水素系クリーナー)で拭き取って下さい。

接着面を密閉して空気を遮断できない、コーティングなどの用途では、下記を参考にしてください。

- ① 工作物全体を真空中に置く。
- ② N<sub>2</sub>(窒素)、CO<sub>2</sub>(ドライアイス)のような、不活性ガスを注入した作業上内で照射する。
- ③ 透明なポリエチレンフィルムなどで表面を被覆し、その上から光を照射する。  
光照射後、フィルムをはがす。